

学校関係者評価報告書（令和2年度）

令和元年度実施内容の学校評価委員会を開催し、「名古屋情報メディア専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

第1回実施日：令和3年3月23日（火）

出席者 企業委員 3名、関連団体委員 1名、卒業生委員 1名、事務局 3名
 評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。	
(2)学校運営 学園グループの学校間の意思疎通や情報連携に対する、改善の取り組みがみられる。また、学校としての独自性、地域性を考慮した運営もを行っている。	新情報システムの導入を開始した。今後活用していきたい。
(3)教育活動 インターンシップは学生が現場の空気を知る良い機会である。さらに積極的に取り組んでほしい。	インターンシップ、就職に向けた成果物の発表など力を入れていく。
(4)学修成果 在校生に対する資格と就職 及び 退学防止に対する取り組みは、力を入れて取り組んでおり、高く評価できる。	
(5)学生支援 十分な支援がなされており、特に目立った改善項目はない	
(6)教育環境 空調、パソコン、ソフト、視聴覚機器などの設備面だけでなく産学連携授業、特別講座など仕組みや制度面も評価できる。	学生を対象とした避難訓練を実施するべく、計画を立てている。また、マニュアルの徹底をしていく。
(7)学生の受入れ募集 全体的には、よく取り組んでおり問題はない。	
(8)財務	

<p>財務基盤が安定しており、健全な学校経営がされている証拠であり、安心できる学校と感じた。</p>	
<p>(9) 法令等の遵守 全体的には、よく取組んでおり問題はない。</p>	
<p>(10) 社会貢献・地域貢献 地域住民に向けたイベントにも取り組んでおり、こういった取り組みを経て、地域社会の評価が年々高まるものと思う。 学校近辺の清掃活動を定期的実施しており、近隣住民から高い評価を受けている。</p>	<p>地域になじんだ学校としての公開講座の実施を検討してほしい。</p>

以上